

地域の高齢者のために、INAC神戸の選手が介護にチャレンジ ～日の出医療福祉グループの施設で、「作業療法士」の仕事体験～

日の出医療福祉グループは、INAC神戸レオネッサとNPO法人Friendly Actionによる「つながりプロジェクト」に賛同し、9月8日（土）に、少人数個別対応型デイサービス「ゆとり庵別府」にて、INAC神戸の選手が介護の仕事体験するイベントを実施いたします。（今回が2回目となります）

「つながりプロジェクト」とは、女子サッカークラブのINAC神戸レオネッサが、高齢者や障がい者の社会参加のため様々な取り組みを行うプロジェクトで、2016年からスタートしており、2018年も既に2回実施しています。
<http://inac-kobe.com/news/2571>

イベント概要

《日時》 9月8日(土) 14:00～15:30 《場所》 ゆとり庵別府 (加古川市別府町中島町26)
《内容》 INAC神戸の若手選手に、職員と同じように、利用者の皆様の車いすを押したりお世話をしたりしながら「どら焼き作り」を行うなど、日常生活行動のサポートをしていただきます。

【背景と目的】

<INAC神戸>

「地域に愛されるクラブをめざし兵庫の皆様と触れ合う機会を増やしたい」「学校卒業後即プロとなる選手に社会人経験がない選手に社会経験をさせたい」という想いで始めました。

高齢者施設等に慰問ではなく職員として短時間入り、普段関わらない人たちと関わることでソーシャルスキル（対人関係などの社会生活能力）を磨ききっかけになればと考えています。

<日の出医療福祉グループ>

地域の皆様に、介護の仕事内容・意義・やりがいに興味を持ち、知っていただきたいと考えています。介護は、入浴・排泄・食事のお世話はもちろん、日常生活行動ができるようにサポートするため、「作業療法士」他さまざまな職種スタッフが協力して、利用者の皆様のお世話をさせていただいています。

作業療法士とは・・・様々な作業や環境設定を通じて対象者の心身に働きかけ、その人らしい生活を考え支える仕事をする職業です。

～昨年度の様子(2017.7.8)～



ゆとり庵別府は、認知症の方も多くおられ普段はなかなか笑顔が見えない方もいらっしゃいますが、昨年度のイベント時には若い選手の笑顔につられて素敵な笑顔を見せていらっしゃり、交流を楽しまれました。

後日、利用者様が職員と一緒にINACの試合を観戦するなど、利用者様の生活意欲の向上にもつながっているようです。

【今後の展開】

日の出医療福祉グループは、「地域密着」をコンセプトとしているINAC神戸レオネッサと同じく、地域の皆様に喜んでいただくことを経営理念としており、今後ともINAC神戸レオネッサと一緒に地域の皆様のお役に立てる活動を積極的に実施していきたいと考えています。

本件のお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

Tel : 079-441-8423 Fax : 079-441-8523

広報担当：大西 緑(おにし みどり)

Mobile phone : 070-1388-6462

Mail : onishi.mdr@hinode.or.jp

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者：代表理事 大西 社司 設立：2016年7月

会員法人：社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人社団 奉志会、
社会福祉法人 博愛福祉会

サービス：介護、保育、医療

事業所数：125カ所 職員数：2500人 (2018年6月時点)

私たちは三方良しの考え「お客様のよこび 社員のよこび 地域のよこび」の精神のもと「よこびに繋がることはどんどんやっていく」という姿勢で日々仕事をしています。特に今は「働き方改革」に力を入れており、AI面接の導入を進めているほか、週休3日制を検討する等これからも様々な働き方スタイルも提案していきたいと考えています。

